

問1 景気変動に対応する日本銀行の役割についてまとめた資料において、不景気時における「日本銀行」と「国債」の関係について正しく述べているものはどれですか。 (2020年 秋田県公立入試 類似)

1. 日本銀行が民間金融機関に国債を
売ること、通貨量を減らす。
2. 日本銀行が民間金融機関から国債
を買うことで、通貨量を増やす。
3. 日本銀行が民間金融機関に国債を
売ること、通貨量を増やす。
4. 日本銀行が民間金融機関から国債
を買うことで、通貨量を減らす。

問2 資金の貸し手と借り手の間に金融機関が入る「間接金融」の特徴を説明したものとして、最も適切なものはどれですか。 (2024年 宮崎県公立入試 類似)

1. 金融機関が資金の貸付先を決定し、
貸し倒れなどの運用リスクも金融
機関が負う仕組み。
2. 投資家が証券会社を通じて特定の
企業の株式を購入し、直接的に資金
を提供する仕組み。
3. 預金者が自らの判断で貸付先の企
業を選び、その企業から直接利子を
受け取る仕組み。
4. 企業が市場で社債を発行し、不特
定多数の個人から直接資金を借り入
れる仕組み。

問3 一般的な金融の仕組みにおいて、銀行などの金融機関は家計や企業から「預金」として資金を集め、それを必要とする側に「貸し出し」を行います。この際、資金を借りた側が、元金の使用料として金融機関に対して支払う一定割合の金銭を何といいますか。 (2025年 茨城県公立入試 類似)

1. 手数料
2. 利子（利息）
3. 保険料
4. 配当金

問4 私たちは、必要なものをすべて自分で作る「自給自足」の生活ではなく、他者が生産した物やサービスと自分の持つものをやり取りすることで生活しています。このような交換を円滑に行うために貨幣が担っている、商品の価値を共通の物差しとして数値化する役割を何といいますか。 (2023年 兵庫県公立入試 類似)

1. 価値の尺度
2. 価値の保存
3. 支払いの手段
4. 流通の強制

問5 日本銀行が、一般の銀行との間で国債などを売買することによって市場の通貨量を調節し、景気や物価を安定させる政策の名称を答えなさい。 (2023年 大阪府公立入試 類似)

1. 所得再分配
2. 預金準備率操作
3. 公開市場操作
4. 財政投融资

問6 日本の中央銀行である日本銀行が、一般の民間銀行に対して資金を貸し出したり、預金を受け入れたりする役割を何と呼びますか。 (2017年 長崎県公立入試 類似)

1. 国民の銀行
2. 銀行の銀行
3. 政府の銀行
4. 発券銀行

問7 銀行などの金融機関が、家計や企業から預金などの形で集めた資金を、資金を必要とする企業などに貸し出す金融の仕組みを何といいますか。 (2026年 北海道公立入試 類似)

1. 直接金融
2. 間接金融
3. 公開市場操作
4. 財政投融资

問8 保険会社が提供するサービスには、大きく分けて人間の生死や病気に関わるものと、偶然的事故による財産の損失に関わるものの2種類があります。このうち、建物の火災や自動車事故による損害を補償する保険の名称として適切なものを選びなさい。 (2021年 千葉県公立入試 類似)

1. 社会保険
2. 損害保険
3. 生命保険
4. 雇用保険

問9 日本銀行が「発券銀行」として紙幣の独占的な発行権を持ち、世の中に出回る通貨の量を管理している最大の理由として、最も適切なものはどれですか。 (2021年 沖縄県公立入試 類似)

1. 通貨の流通量を適切に調整し、物
価や貨幣価値の安定を図るため
2. 新しい偽造防止技術を特定の機関
だけで管理し、製造コストを抑える
ため
3. 民間銀行が自由に紙幣を発行する
と、銀行同士の競争が激化しすぎる
ため
4. 政府の財政赤字を補うために、無
制限に紙幣を供給できるようにする
ため

問10 物価が上がり続け、景気が過熱している「インフレーション」の懸念がある場合、日本銀行が行う「公開市場操作」の内容とその目的として、正しい組み合わせはどれですか。 (2021年 千葉県公立入試 類似)

1. 日本銀行が国債を売り、銀行から
資金を回収することで、通貨の量を
減らし物価の安定を図る。
2. 日本銀行が国債の利子率を直接引
き下げ、企業の設備投資を促すこと
で生産量を増やす。
3. 日本銀行が政府に対して国債を発
行させ、その資金で市場の製品を買
い占めて物価を下げる。
4. 日本銀行が国債を買い、銀行へ資
金を供給することで、通貨の量を増
やし物価の安定を図る。

問11 日本銀行、一般の銀行、そして企業の間で資金が循環する仕組みにおいて、日本銀行が「買いオペレーション」を実施したあとの経済への影響として最も適切な説明を選びなさい。 (2025年 神奈川県公立入試 類似)

1. 国債の価値が下落し、銀行から企
業への貸し出しが停止される。
2. 政府が直接企業に資金を供給する
ようになり、銀行の役割が縮小する
。
3. 市場の通貨供給量が増えることで
金利が低下し、企業が資金を借りやす
くなる。
4. 市場から通貨が回収されることで
金利が上昇し、企業の過度な投資が
抑えられる。

問12 不況の際、日本銀行は景気を刺激するために市場に流通する資金の量を調整する「金融政策」を行います。日本銀行が民間の銀行から国債を買い入れることで、市場の資金量を増やす操作を行った場合、その後の経済に与える影響として最も適切な説明を選びなさい。 (2018年 愛知県公立入試 類似)

1. 銀行の貸出金利が上がることで、
個人の預金意欲が高まり、通貨の価
値が安定する。
2. 政府が公共事業を増やすことで、
失業者が減少し、家計の消費が大幅
に拡大する。
3. 銀行の貸出金利が下がることで、
企業が資金を借りやすくなり、生産
活動が活発になる。
4. 市場の資金量が不足することで物
価が下落し、消費者の購買意欲が刺
激される。

問13 日本銀行は、一般の銀行とは異なる特殊な役割を担っています。日本銀行が「銀行の銀行」と呼ばれる理由として、業務の実態を正しく述べたものはどれですか。 (2019年 茨城県公立入試 類似)

1. 銀行の窓口で行われる振り込みや
引き出しの業務を、すべて日本銀行
が遠隔で代行しているから。
2. 民間金融機関との間で当座預金の
やり取りを行い、金融システム全体
の資金の過不足を調整しているから
。
3. すべての国民が日本銀行に口座を
持ち、民間銀行を介さずに預金ので
きる仕組みを提供しているから。
4. 全国の民間銀行の経営権を政府に
代わって所有し、銀行の支店網を管
理しているから。

答え合わせ・解説

問1	答え 2 日本銀行が民間金融機関から国債を買うことで、通貨量を増やす。	景気が停滞しているときは、世の中にお金が十分に循環するように、日本銀行が「買い手」となって市場に資金を供給します。民間金融機関から国債を買い入れるアクションは、銀行が保有する資産を現金化させることを意味し、これによって銀行は企業などへの融資を増やせるようになります。逆に景気が過熱しているときは、国債を売って通貨を回収する「売りオペレーション」が行われます。
問2	答え 1 金融機関が資金の貸付先を決定し、貸し倒れなどの運用リスクも金融機関が負う仕組み。	間接金融では、預金者は資金を銀行に預けるだけで、どの企業に貸し出すかという判断には関与しません。そのため、銀行が自らの責任で貸付先を審査し、もし貸し出した資金が回収できなくなった場合でも、原則として銀行がそのリスクを負うことになります。これに対し、投資家が自己責任で投資先を選ぶ形態は直接金融と呼ばれます。
問3	答え 2 利子（利息）	銀行などの金融機関は、家計や企業から余っている資金を預金として集め、それを資金が不足している企業や家計に貸し出すことで、社会全体の資金を循環させる「金融」の役割を担っています。資金を借りた側は、元金に一定の割合を乗じた「利子（利息）」を上乗せして返済する必要があります。金融機関は、貸し出しの際の利子と預金者に支払う利子の差額などを主な収益として運営されています。
問4	答え 1 価値の尺度	貨幣には主に、交換を仲立ちする「交換の媒介」、モノの価値を測る物差しとなる「価値の尺度」、富を蓄える「価値の保存」といった役割があります。自給自足ではない社会において、肉と野菜のように性質が異なる商品を円滑に交換するためには、それらを「価格」という共通の単位で比較できるようにすることが不可欠です。
問5	答え 3 公開市場操作	日本銀行が金融政策の主要な手段として用いるのが公開市場操作（オープン・マーケット・オペレーション）です。市場の資金量を直接調整する手法であり、景気が過熱しているときには国債を売る「売りオペレーション」、景気が停滞しているときには国債を買う「買いオペレーション」を行い、経済のバランスを整えます。
問6	答え 2 銀行の銀行	日本銀行は、私たち個人や一般の企業と直接取引を行うことはありません。その代わりに、三菱UFJ銀行や地方銀行といった「一般の銀行」を相手に資金の貸し借りや預金の管理を行うため、このような名称で呼ばれます。これにより、金融機関同士の資金のやり取りを円滑にし、経済全体の安定を支えています。
問7	答え 2 間接金融	家計（貸し手）が銀行などの金融機関に預金し、その金融機関が自らの判断で企業（借り手）に融資を行う形態を指します。貸し手と借り手の間に金融機関が介在するため、資金の流れが「間接的」であることからこの名称で呼ばれます。
問8	答え 2 損害保険	保険会社が扱う民間保険は、主に「生命保険」と「損害保険」に分かれます。生命保険は人の生存や死亡に対して保険金が支払われるのに対し、損害保険は火災、地震、交通事故など、偶然的事故によって生じた実際の損害を埋め合わせることを目的としています。なお、国や地方公共団体が運営し、加入が義務付けられているものは社会保険と呼ばれます。
問9	答え 1 通貨の流通量を適切に調整し、物価や貨幣価値の安定を図るため	もし複数の機関が自由に紙幣を発行できると、市場に通貨が溢れて貨幣価値が下がるなど、経済が混乱する恐れがあります。日本銀行が独占的に発行・管理を行うことで、景気の状態に合わせて通貨の量を増やしたり減らしたりし、物価の安定を保つ仕組みになっています。
問10	答え 1 日本銀行が国債を売り、銀行から資金を回収することで、通貨の量を減らし物価の安定を図る。	景気が過熱し物価が上昇しすぎるのを防ぐため、日本銀行は所有する国債を一般の銀行に売る「売りオペレーション」を実施します。銀行は国債の代金を支払うため、手元の現金が減少します。これにより世の中に出回る通貨の量が減少し、借入れの利息（金利）が上昇するため、過度な投資や消費が抑えられ、物価の安定につながります。利子率（金利）は日本銀行が直接決めるのではなく、通貨の量の増減を通じて市場で変動する仕組みです。
問11	答え 3 市場の通貨供給量が増えることで金利が低下し、企業が資金を借りやすくなる。	日本銀行が一般の銀行から国債を受け取り、代わりに代金を支払うことで、銀行側の資金に余裕が生まれます。資金が豊富になれば利下げ（金利の低下）が起こり、企業は低い利息で設備投資などのための資金を借りやすくなります。このように、通貨供給量の増加から利下げへとつながることで、経済活動を活発化させることが狙いです。
問12	答え 3 銀行の貸出金利が下がることで、企業が資金を借りやすくなり、生産活動が活発になる。	不況時には、日本銀行が民間銀行から国債などを買い入れる「買いオペレーション」が行われます。これにより、民間銀行が保有する資金量が増え、銀行が企業や個人に貸し出す際の金利が低下します。金利が下がると、企業は設備投資などのための資金を借りやすくなるため、社会全体の生産活動や消費が活発になり、景気の回復が期待されます。
問13	答え 2 民間金融機関との間で当座預金のやり取りを行い、金融システム全体の資金の過不足を調整しているから。	日本銀行は中央銀行として、民間の銀行などが預け入れている当座預金を通じて、金融機関同士の資金の決済を仲介したり、不足している銀行へ資金を貸し出したりしています。このように「銀行にとっての銀行」として機能することで、経済全体の血液であるお金の流れを安定させています。民間銀行の経営権を所有したり、個人の預金口座を管理したりすることはありません。